

まちの話題

第21回にいかっぷふるさと祭り

7月15・16日の2日間、新冠駅前広場を中心に「第21回にいかっぷふるさと祭り」が開かれ、町内外から訪れた人々は、新冠の夏の一大イベントを楽しみました。

快晴となった15日の宵宮祭では、会場にたくさんさんの露店が立ち並び、ステージでは、新冠判官太鼓の演奏や向井成一郎さんのショーが開かれました。また、氷川若衆会を中心とする周慶みこしの練り歩きや俵かつぎりレーなどで盛り上がりしました。

16日は、あいにくの雨模様で、一部演目が中止となつてしまいましたが、子どもみこしや周慶みこしが町内を練り歩きました。日中は雨が強く降る時間もありましたが、夕方になると天気も回復し、メイン会場では、新冠カピリフラサークルの踊りや旭川を中心に活動するユニット「Nene & Waka」、多くの女性芸能人のモノマネを披露した「藤川なお美さん」、実力派の演歌歌手「門倉有希さん」のステージで盛り上がりしました。



「ものづくり」の魅力発掘

陶芸&そば打ち講座



7月6日、陶芸館で、生涯学習講座「陶芸&そば打ち講座」が開かれました。

この講座は「陶芸」と「そば打ち」の2つの体験を組み合わせた講座で、1回目となるこの日は、新冠町陶芸サークルの協力により、器の形作り体験をしました。

次回は、器の色付けを行い、最終回にはそばを打ち、手作りの器でそばをいただきます。

レ・コード館20周年記念 米村でんじろうショー

7月22日、レ・コード館開館20周年記念事業として「米村でんじろうサイエンスショー」が開かれ、客席は、公演を心待ちにした460名の親子で埋め尽くされました。

不思議で楽しい科学実験を行うことで知られる米村でんじろうさんをまじかに見られるとあり、当日は開場前から来場者が長い列を作りました。

ステージショーは、ゴム風船を使った実験で始まり、風船の前方に重りと後方に小さな羽をつけるだけで真っ直ぐ遠くまで飛ぶことがわかりました。



また、段ボールを使用した空気砲の実験や、大きなゴム風船を使用して空気の色を体験する実験など、家庭など身近にあるものを使用して楽しめる科学の実験を行いました。

公演は、来場者も一緒に体験できる仕掛けが多くあり、会場には子ども達の歓声が響き渡っていました。

漁業者と漁組青年部員 節婦漁港の清掃を実施



7月15日、節婦漁港の清掃作業が行われ、地域の漁業者とひだか漁協新冠支所青年部16名が参加しました。

漁港清掃は、台風や波が高くと漂着物や流木が流れ着き、日常の作業に支障をきたすことから定期的に行われており、この日も参加者たちは、ほうきやスコップで手際よくゴミなどをかき集め、約1時間ほどで作業を終えました。

登山者の無事故を祈って 幌尻岳新冠陽希コースを命名



7月8日、新冠ポロシリ山岳会は、イドンナツプ山荘から幌尻岳山頂までの登山ルートに「新冠陽希コース」と命名し山荘前に記念モニュメントを設置しました。

近年、幌尻岳の登山者は、大幅に増加しており、それに伴い山岳事故も多数発生していることから、新冠山岳会が安全な登山の啓発活動の一環として取り組みを行いました。

字北星町 前山佳弘さん 旭日双光章を受章



この度、北星町在住の前山佳弘さんが旭日双光章を受章し、7月18日、鳴海町長から勲記と勲章が伝達されました。

前山さんは、昭和60年から新冠町教育委員会委員として、また、平成元年から平成20年まで教育委員長として、当町の教育行政の推進と発展に情熱を持ち取り組んでこられた功績が認められ、今回の受章となりました。